

診療科研修コース
診療科研修名【脳血管内科コース】

1. 診療科（専門領域）

脳血管内科

2. コースの概要

内科系基礎プログラムと脳血管内科プログラム（基礎領域）を終了し、さらに脳卒中疾患に対する研修を希望する者には2年間の専門領域の研修も可能

3. 取得資格

3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医（ ）

5年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医（ ）

4. 長期目標

- ・病歴、神経学的診療技術の習得
- ・脳血管障害（急性期・慢性期）、頸動脈疾患、神経変性疾患・認知症、高血圧など脳血管障害危険因子の病態生理の理解と診療技術の習得
- ・日本脳卒中学会認定脳卒中専門医の取得
- ・臨床研究や治験への参加と各種学会への発表、論文投稿

5. 取得手技

- ・脳血管障害、神経疾患の画像診断知識と検査手技の習得
（CT/CTA、MRI/MRA、脳血流SPECTなど）
- ・血管撮影検査法や血管内治療法の専門的知識と技術
- ・神経超音波診断法の専門的知識と技術
- ・急性期虚血性脳血管障害における血栓溶解療法の知識と技術
- ・神経心理学的診断法の専門的知識と技術

6. 研修期間

5 年間

7. 募集人数

3 名

8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数（年間）	目標症例数（年間）
急性期虚血性脳血管障害・頸動脈疾患	100	50
出血性脳血管障害	20	10
急性脳神経疾患	30	15
慢性期脳血管障害・神経変性疾患・認知症	70	35
難治性高血圧症・高血圧性臓器合併症	10	5

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 1 名

診療科研修の指導にあたる医師 3 名

主として研修指導にあたる医師の氏名

橋川 一雄

〃

診療科経験年数

28

年

10. コンセプト

- ・急性期脳血管障害に対応できる診療技術と知識を習得させる
- ・慢性脳血管障害のリスク管理
- ・他の神経変性疾患に対応できる診療技術と知識を習得させる
- ・脳血管障害を専門とする指導医としての経験を積ませる
- ・臨床治験や臨床研究に積極的に参加する。また自分自身の臨床研究テーマを設定しその成果を学会、論文に発表する

11. 一般目標

- ・脳循環疾患の診療は、急性期に迅速・的確に対応できる診療技術ばかりでなく、その背景にある病態生理を常に考慮する必要がある、基礎的な血管生物学や神経科学の知識も習得する
- ・各種検査手技についてより高度な技術を習得し、先端技術にも参加する
- ・臨床研究や治験に積極的に参加し、その成果の発表能力を習得する

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

可能

不可

施設外との交流研修

可能

不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定